



自分に挑戦！ チャレンジ南関中

2020年5月15日発行

文責 樹本



夢を描き、絆を深め、自分に挑戦する生徒の育成～輝きと潤いのある学校づくりをめざして～

「慣らし登校」開始

五月十三日から慣らし登校が開始され、約束事であった七時四十五分以降の登校を全員が守り、多くの生徒が笑顔で登校しました。登校後は、各学年の先生が昇降口や教室前に立ち、登校後の動きを指示し、学年集会を開いて、学校生活上の約束を説明して一時間目の授業に入りました。



生徒の肌の白さは、家庭生活の長さを感じましたが、笑顔であいさつを交わしてくれ、生徒も学校に通えることの喜びを感じているように思えました。授業中は、教室から歓喜の声が聞かれ、本来の学校が帰ってきたと数人の先生と喜び合ったところです。私自身、いつもの長期休業明けの出会いと違う新鮮さを感じました。

初日を終えて、下校する3年生女子に「今日は久しぶりの学校で疲れたね」とたずねると、「いえ、楽しかったです」と言ってくれ、この返しに再び喜びを感じました。

これから感染拡大防止に努め、生活や学習のケアを優先しながら教育活動をを行います。

生徒のみなさんも規則正しい生活を心がけ、自ら生活リズムを取り戻すように心がけてください。

【感染対策①】教室の分散

学級・学年の接触を避けるために、本来の教室配置を変更しました。

◇3年生

1組は、体育館が教室です。

2組は、教室と隣の「3A学習室」に分散します



体育館での授業

ホワイトボード、移動式黒板等を設置。ステージ白壁にプロジェクターで映像等を映します。

3年2組での授業



授業の様子をタブレットで撮って、隣の教室の大型テレビに映し出し、その映像を見ながら学習します。(1年2組も同じ要領です。)

状況によっては、各教室が見渡せる廊下に立って一斉指導を行ったり、教室を行ったり来たりすることもあります。



◇2年生

1組は、特別教室棟1階の「心の教室」が教室です。2組は、会議室を教室とします。

◇1年生

1組は、ランチルームが教室です。2組は、3年2組と同じように2つの教室に分散します。

「初心忘るべからず」

とは、「何事においても、始めた頃の謙虚(けんきょ)で真剣な気持ちを持ち続けていかねばならない」という意味です。4月1日から正門を上りきった掲示板に「今の心が、初心、大切に！」の表示をして新しい学年で目標を立てて頑張るように呼びかけたのですが、残念ながら3日間で休校となってしまいました。慣らし登校で心と体のリズムを取り戻し、4月はじめに「夢」「絆」「挑戦」のキーワードで立てた目標に向かって頑張ってくれることを期待します。一人一人の頑張りが学校の活気を取り戻します。



5月18日(月)から「給食開始！」

感染防止に努め、以下のような方法を行います。

- 食べる場所は、1年生と先生がランチルーム、2・3年生は各教室です。
- 2・3年生は、おぼんを使い、その上にランチョンマットかハンカチを敷き、器を置きます。
- 昼の放送はしばらくやめます。
- 座席を離し、向かい合わないようにします。
- 当番は、ビニール袋で手をおおい配膳をします。
- 配膳を待つ生徒は、適切な間隔を保ちます。
- 牛乳パックリサイクルは、しばらくやめます。

他にいくつかの約束事を設けて、給食を再開します。



日に日に、先生方の注意・指導が少なくなり、自分たちで出来るようになるのが、中学生・中学校とっております。みんなでこの危機を乗り越えましょう。